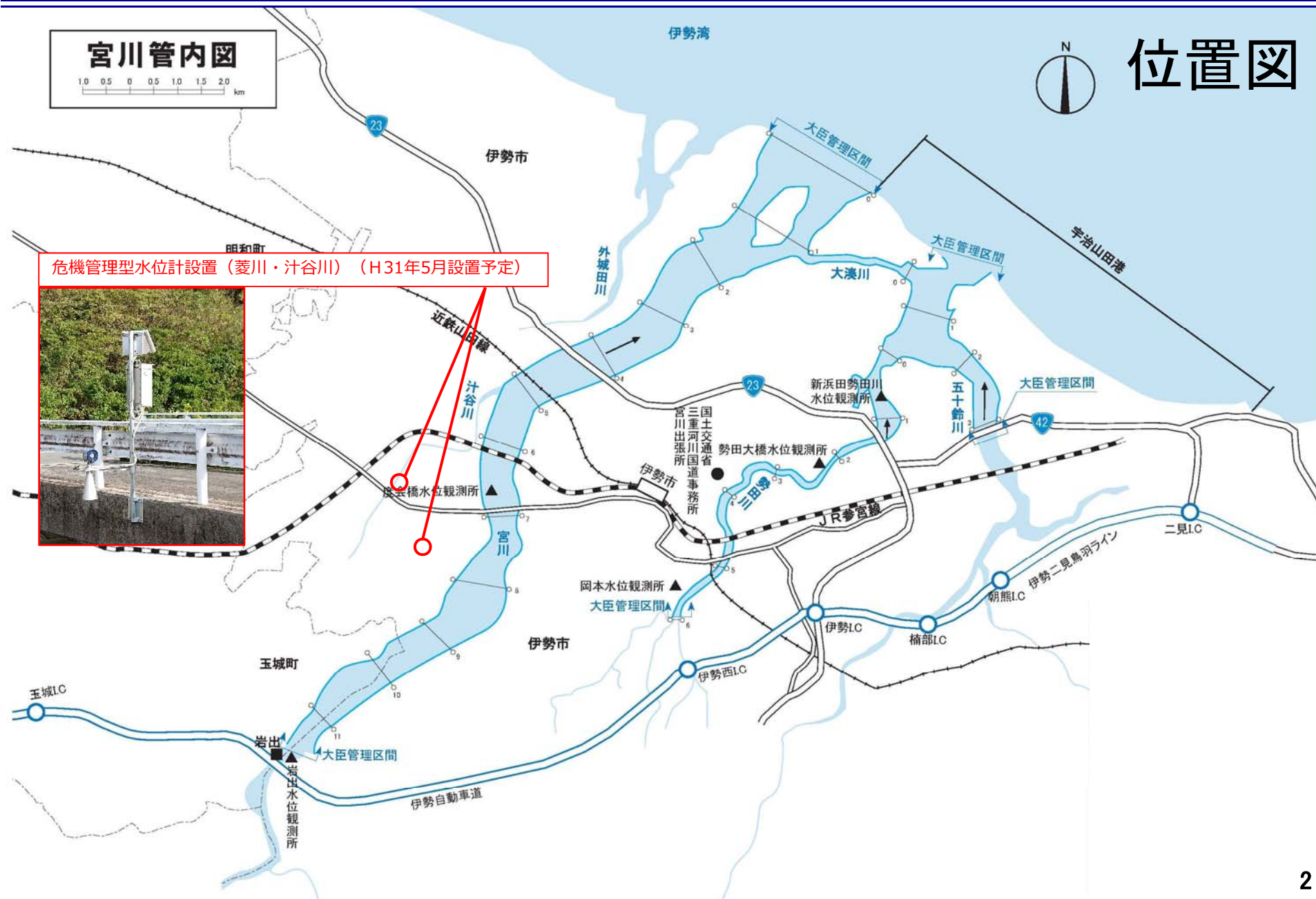


勢田川流域等浸水対策実行計画の 今後の取り組みについて

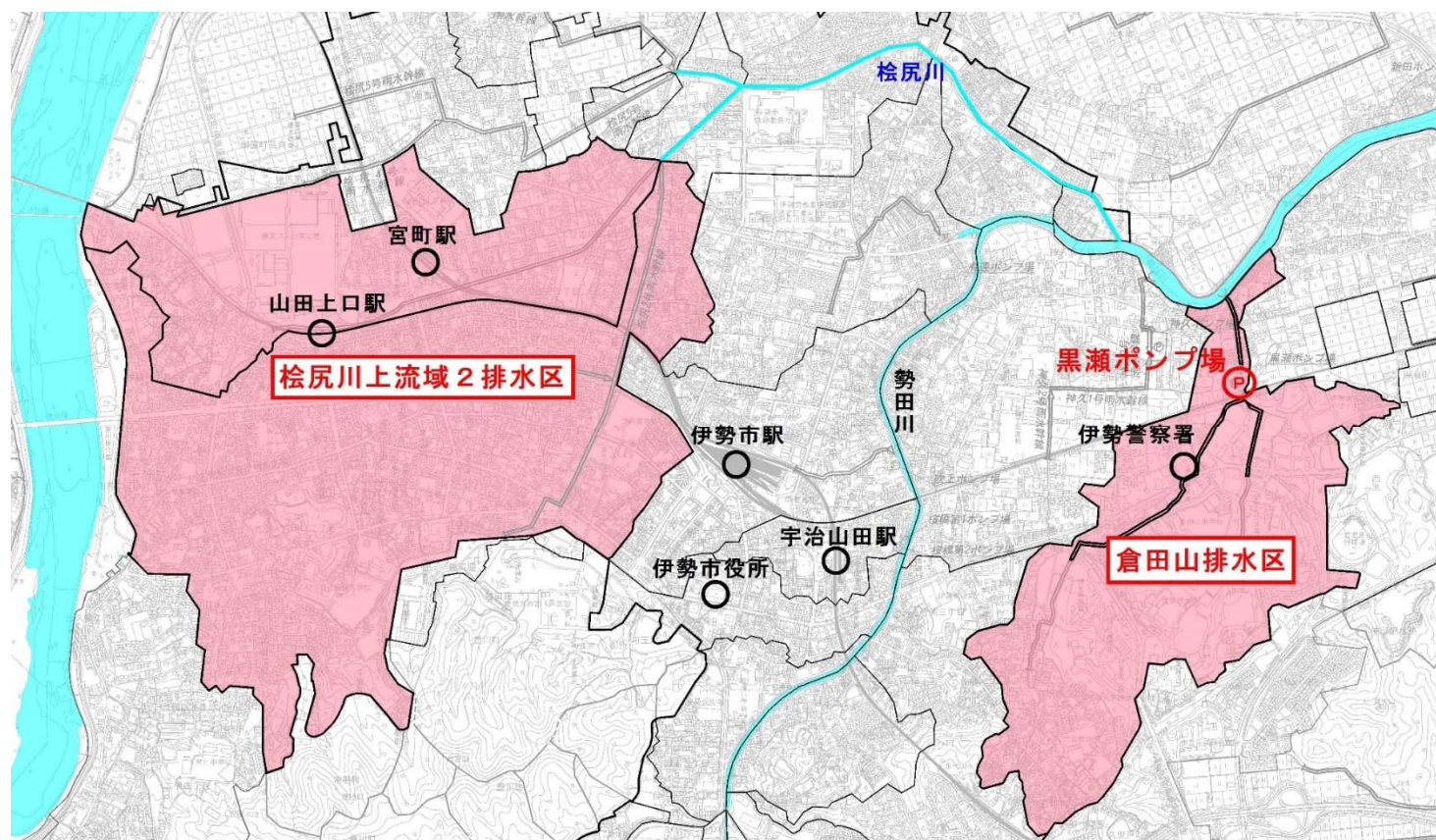
勢田川流域等浸水対策協議会
平成31年2月26日

1) 伊勢市



勢田川流域等浸水対策実行計画に基づく下水道整備（短期計画）の予定

- 平成31年度 流域関連伊勢市公共下水道事業計画変更（3排水区の事業化）
- 計画事業に着手



- 伊勢市防災大学の開催（予定）
- 的確な避難行動を考えるワークショップを自治会・自主防災組織からの要望に応じ実施予定です。

平成31年度伊勢市防災大学の開催

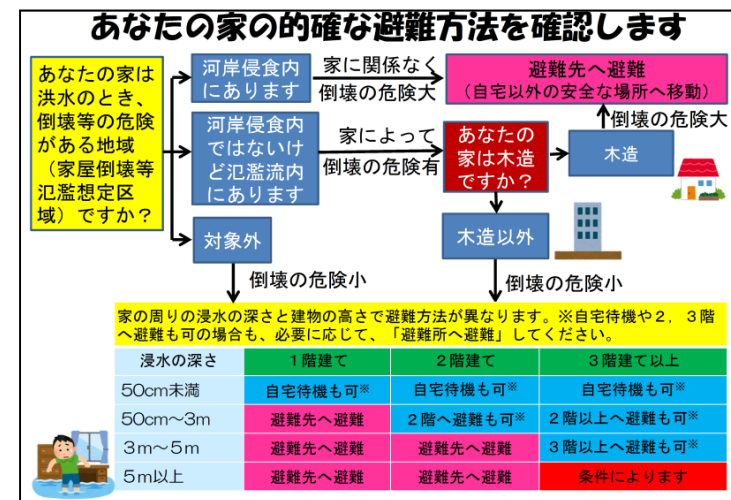
●市民の防災知識を深め、防災に対する意識高揚を図るため、引き続き伊勢市防災大学を開催する予定です。



的確な避難行動を考えるワークショップ

●今年度の実施内容に加え、新たに三重県が策定する伊勢市内の県管理河川の浸水想定区域図のハザードマップの説明会をフロッチャート等を用い実施する予定です。

- ・取組主体：伊勢市
- ・講師：伊勢市、
- ・対象：自治会、自主防災組織



フロッチャート イメージ
(H30年度ワークショップ時使用)

勢田川流域等浸水対策実行計画の推進に向け連携した取り組み

- 国・県の対策メニューである河道掘削の発生土砂の受け入れ先を準備し、実行計画の推進を連携して進めます。
- 神宮周辺の交通渋滞対策として実施しているパーク＆バスライドの駐車場は、今後不足することが見込まれるため、発生土砂を活用し、伊勢廃棄物投棄場を造成することで、駐車場として利用できるよう整備する予定です。



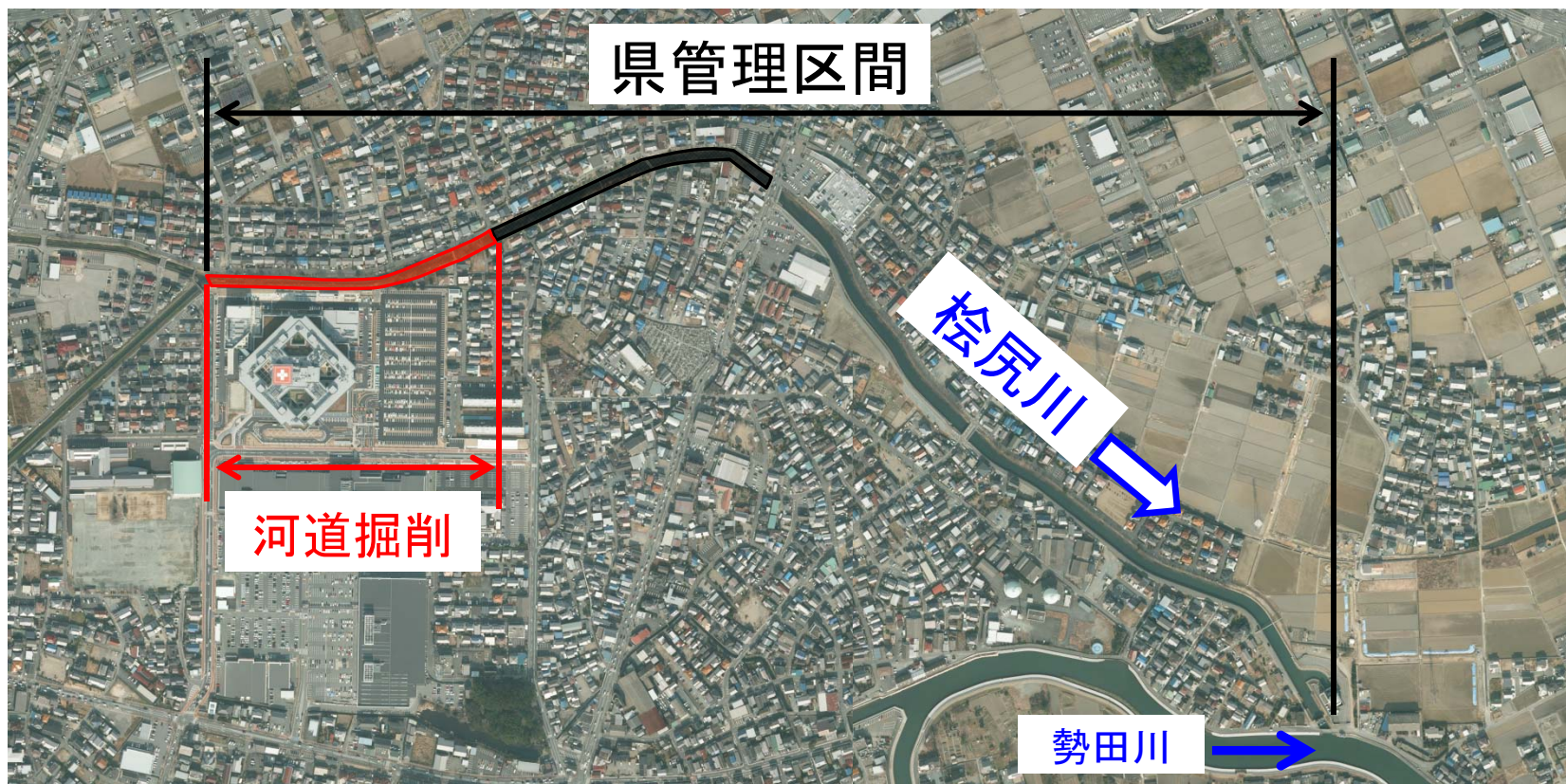
2) 三重県

■平成31年度取組みについて（三重県）



○ハード対策

- 河道断面を増やすための掘削を引き続き実施



- 実施済（H31年5月完了予定）
- 今後実施予定

河川整備計画（素案）の概要（汁谷川）



○計画高水流量

□年超過確率1/30の規模の降雨による洪水を計画高水位以下で流下可能となる河道を検討した。

河川整備計画			
計画規模	1/30 確率	計画降雨	393.1mm/24時間
降雨波形	平成2年11月30日洪水	流出計算手法	貯留関数法
基準地点	汁谷水門	基本高水流量	80 m ³ /s
洪水到達時間	2時間	降雨継続時間	24時間

汁谷川

80m³/s →

汁谷水門 ■

■: 基準地点

河川整備計画（素案）の概要（汁谷川）

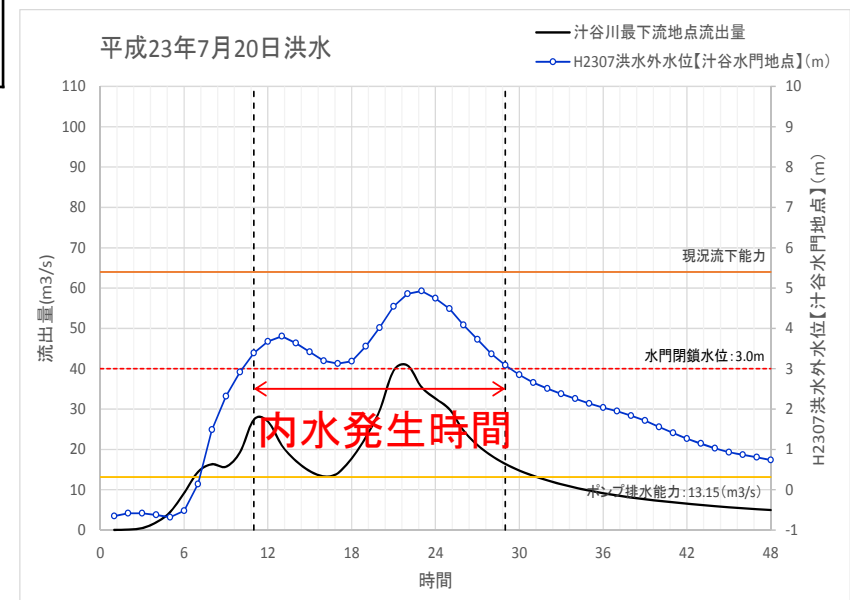


○内水対策：検討対象内水

□年超過確率1/10の洪水で床上浸水が解消となる内水対策を検討した。

検討対象内水			
計画規模(※1)	1/10 確率	計画降雨	294.8mm/24時間
降雨波形	中央集中型モデルハイエト 平成23年7月20日洪水	流出計算手法	貯留関数法
内水発生時間	平成23年洪水：19時間	ピーク流量	中央集中：60m ³ /s 平成23年洪水：43m ³ /s
現況ポンプ規模	13.15m ³ /s		

(※1) 計画規模は、伊勢市の排水計画規模(W=1/10)との整合を図り設定した。

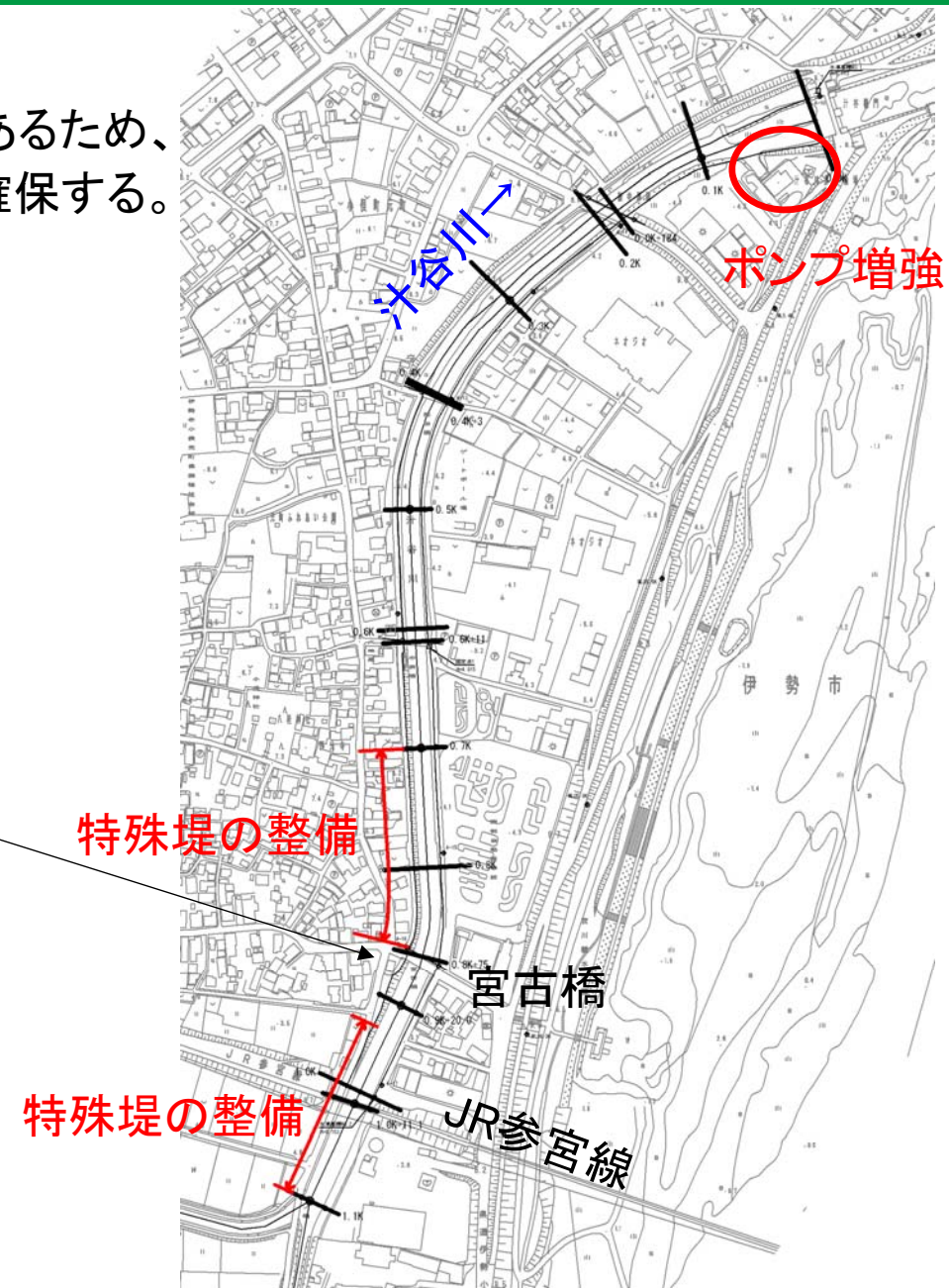


河川整備計画（素案）の概要（汁谷川）



○整備メニュー

- 流下能力が不足している区間があるため、以下の整備を行い、流下能力を確保する。
 - ・ 特殊堤の整備
 - ・ ポンプの増強(約8m³/s)

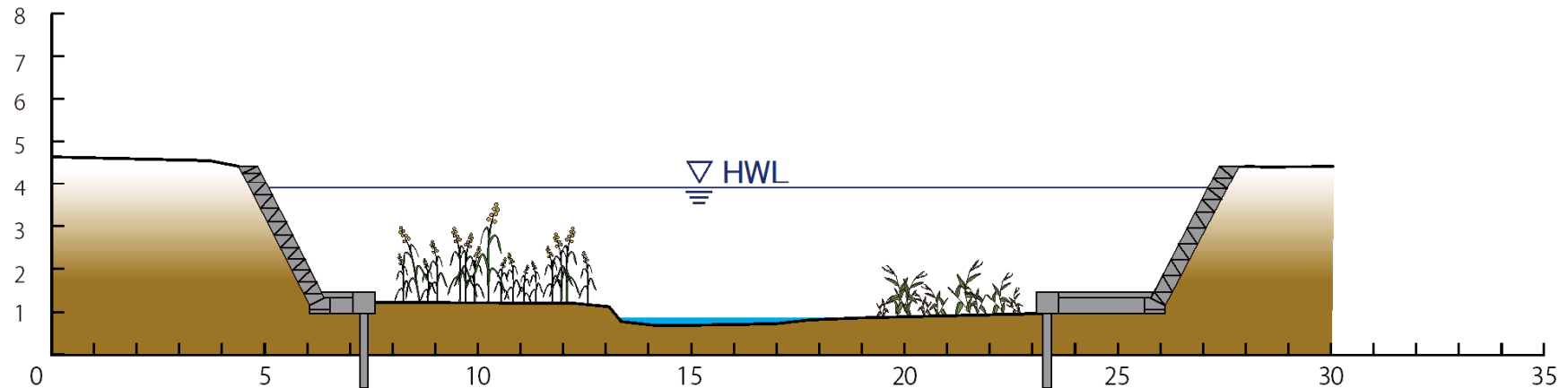


河川整備計画（素案）の概要（汁谷川）

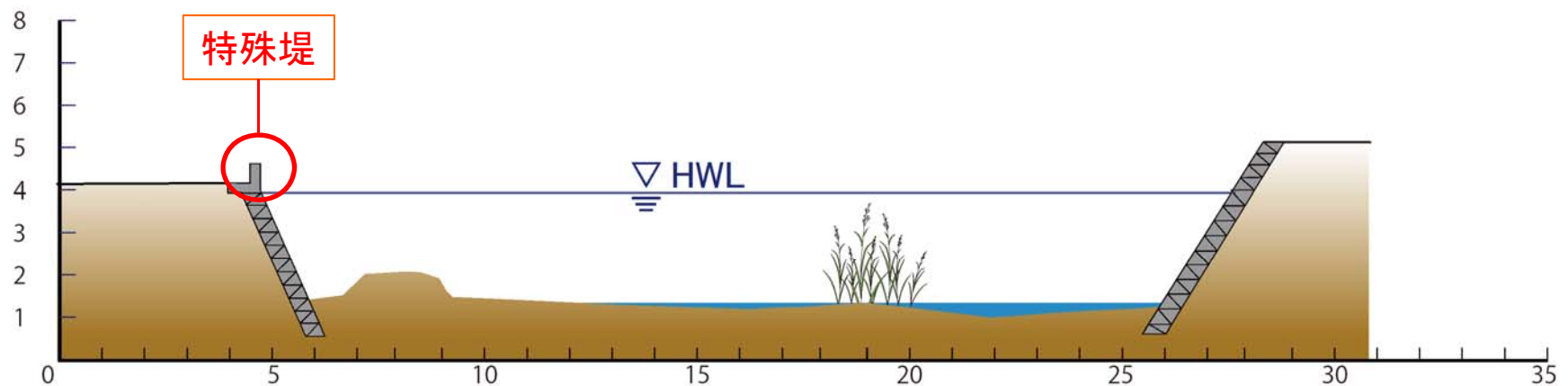


○ 計画断面図（代表横断）

□ 河道断面（0.6k地点）



□ 特殊堤整備後断面（1.0k地点）

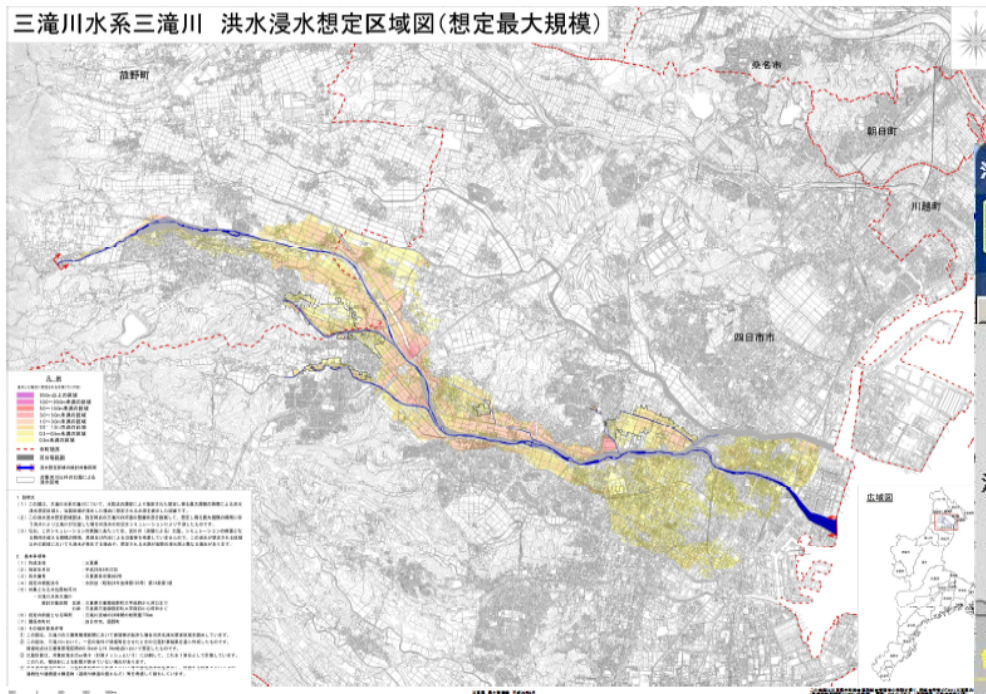


河川整備計画（素案）の概要（汁谷川）



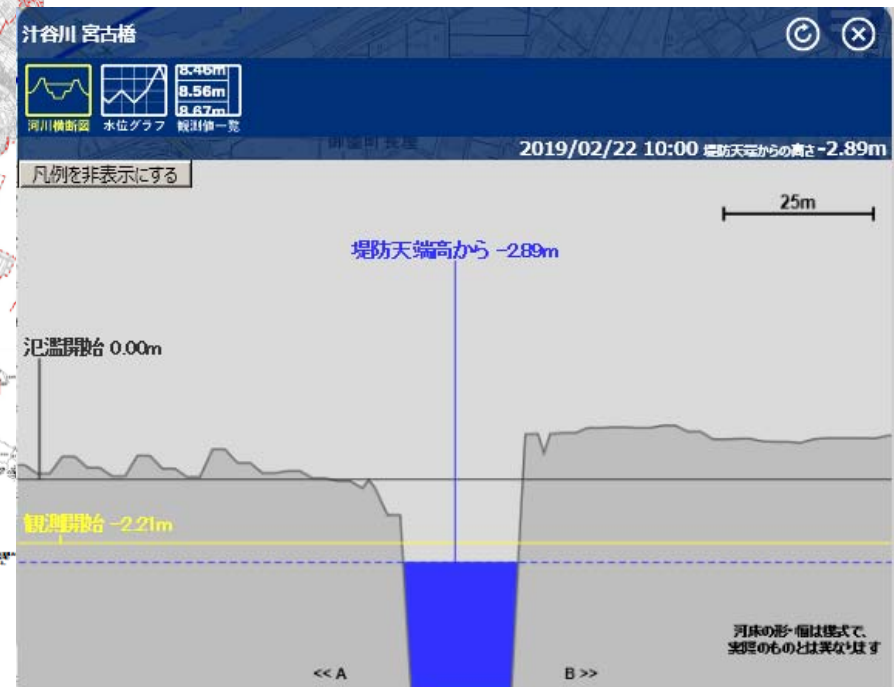
○ソフト対策

- ・計画規模を上回る洪水や整備途上段階における洪水による被害の危険性を周知し、避難判断の支援に役立てていただくため、洪水浸水想定区域図の作成や危機管理型水位計による水位の情報提供を行う。

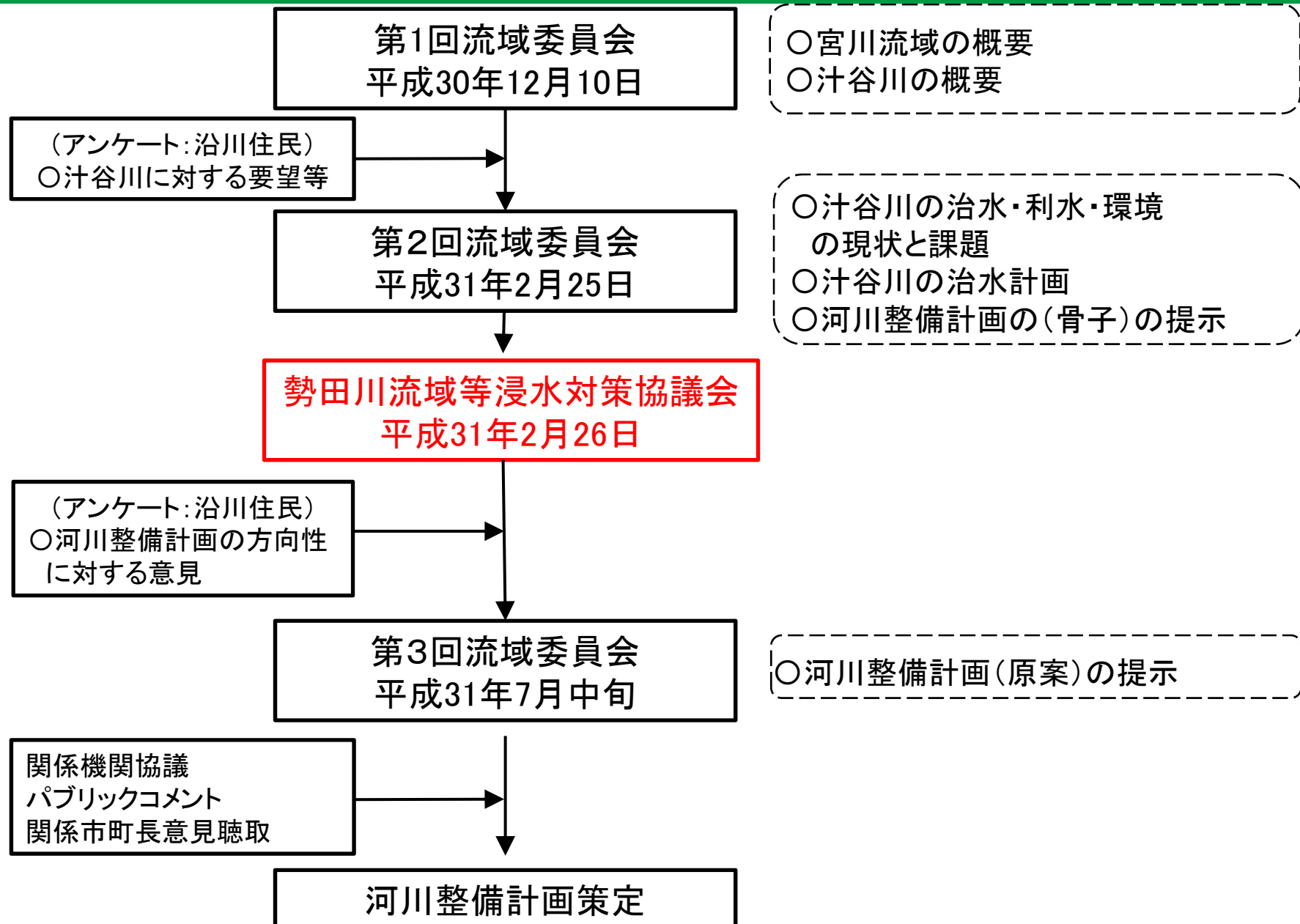


洪水浸水想定区域図(想定最大)
イメージ

水位情報

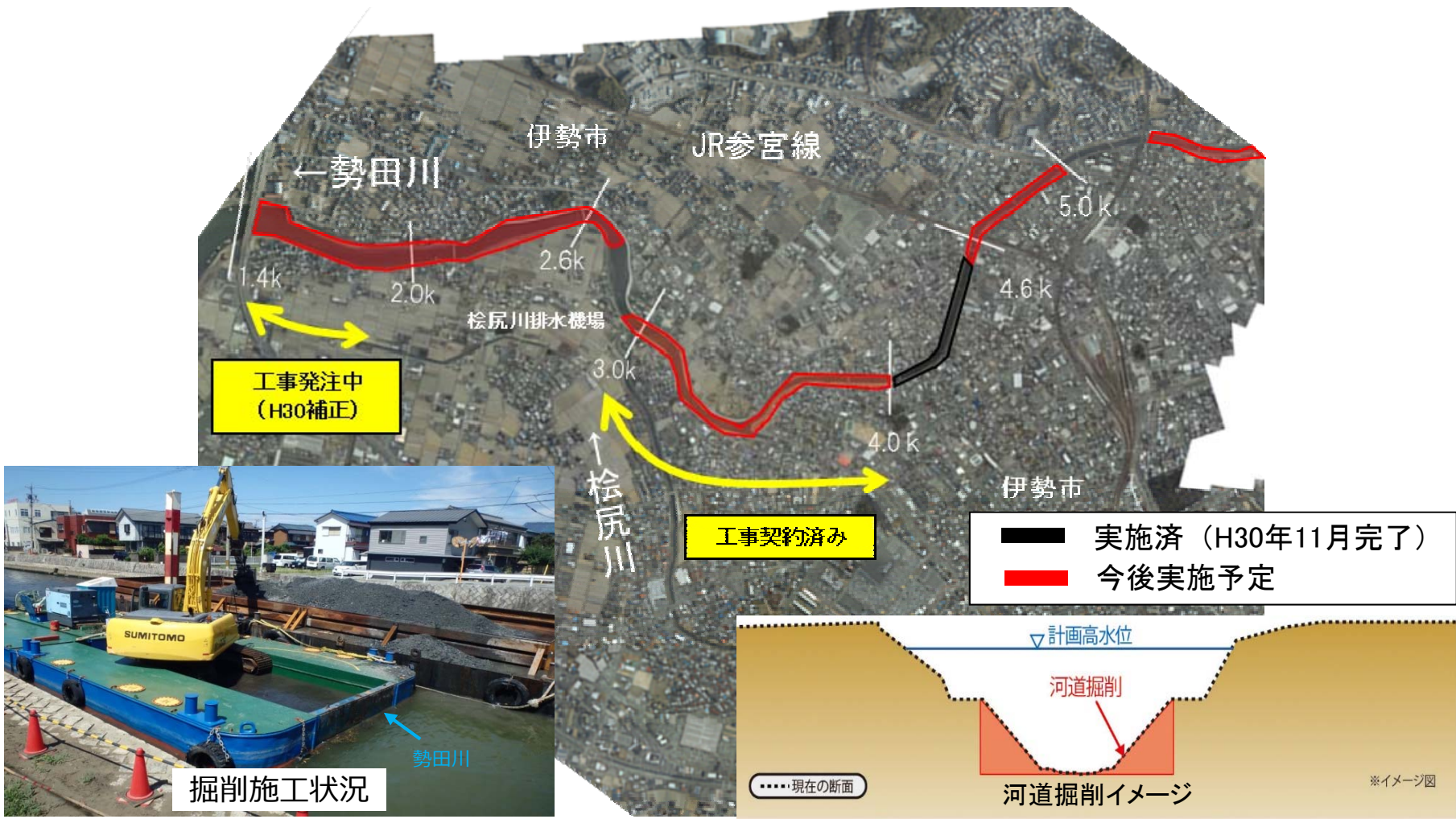


■今後の進め方（河川整備計画策定）



3) 国土交通省三重河川国道事務所

- ▶ 洪水時の勢田川の水位を下げるため、河道断面を増やすための掘削を引き続き実施。
- ▶ 残土受け入れ先については、伊勢市事業（パーク&バスライドの駐車場整備）と連携を図ります。



- 桧尻川の内水による家屋浸水被害軽減のため、下水道整備・桧尻川(県管理区間)の河川整備と事業調整を図り、整備の進捗状況を踏まえ、実施予定。
- **引き続き、伊勢市、三重県と事業調整を図り、整備の進捗状況を把握しながら、工事実施のための準備として設計を進める。**



桧尻川排水機場